

## まちづくりチャレンジ協働事業報告書

|         |                        |      |  |
|---------|------------------------|------|--|
| 協働事業の名称 | 「正しく恐れるコロナ対策」感染対策情報発信！ |      |  |
| 団体名     | えにわ感染対策チームこびりんす        | 実施場所 |  |
| 担当課     | 保健福祉部 介護福祉課            |      |  |

|   |  |
|---|--|
| 協働事業の実施状況<br>※いつ、どこで、なにを、どうしたか記入してください。 | 広報誌発行の他、9月18日（土）文教大学にて、新型コロナウイルス感染防止を目的に、市民を対象として「新型コロナウイルス感染防止」についての研修会を開催し、感染防止への意識啓発と感染対策などの知識向上を図ることが出来た。  |
| 協働事業の成果<br>・事業内容の成果<br>・協働で取り組んだことの効果 等 | <p>団体の成果</p> <p>団体活動では難しい諸調整や事務等があったが、行政との協働により可能になった事があり、行政と協働することで目的が達成された。</p> <p>担当課の成果</p> <p>高齢者施設での感染対策への専門的な助言は担当課のみでは困難であった。感染予防に効果があり、目的は達成された。</p>  |
| 協働事業の実施時に<br>おける役割分担                    | <p>団体の役割</p> <p>講師調整、チラシ・ポスター作成発注、会場運営、周知啓発などを行った。</p> <p>担当課の役割</p> <p>会場運営への協力や、他課との調整等。</p>   |
| 次年度以降の見通し<br>と課題                        | <p>団体として</p> <p>新型コロナ対策は次年度以降も行なう必要があることから、昨年同様に行政と協働して、民間活動に求められる役割を果たしていきたい。</p> <p>担当課として</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策は、次年度以降も行う必要がある。専門的な助言など、担当課では困難であり次年度以降も協同して行っていきたい。</p> <p>共通して</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策は、次年度以降も大きな課題となることが共有できたため、次年度以降も活動を継続していきたい。</p> |

※ 周知用チラシや実施時に記録した写真等を添付してください。

※ 記載欄が不足する場合は別途資料を添付しても構いません。

#### \*自己評価

評価欄にあてはまる数字を記入してください。

4…できた（非常にあった）

3…概ねできた（あった）

2…あまりできなかった（あまりなかった）

1…ほとんどできなかった（ほとんどなかった）

| 項目                                    | 評価者 | 評価 | 1や2の場合、その理由   |
|---------------------------------------|-----|----|---|
| 課題や目的を共有することができたか                     | 団体  | 4  | お互いに密に連絡調整を行っており、共有できたと考えている。                                 |
|                                       | 担当課 | 4  | お互いに密に連絡調整を行っており、共有できた。                                       |
| 目的は達成できたか                             | 団体  | 4  | 市民アンケートの結果などから、目的は達成できたと考えている。                                |
|                                       | 担当課 | 4  | 目的は達成   |
| 計画どおり進めることができたか<br>(事業費、実施体制、自主自立性等)  | 団体  | 3  | 目的達成のために運営会議等を積み重ねており、概ね順調に進めることが出来た。                         |
|                                       | 担当課 | 4  | 新型コロナウイルス感染拡大により、変更せざるを得ない部分もあったが概ね順調に進めることができた。              |
| 市民ニーズは反映されたか<br>(不特定多数の利益、まちづくりへの寄与等) | 団体  | 3  | アンケート集計の結果、多くの参加者から好評であった。                                    |
|                                       | 担当課 | 4  | 新型コロナウイルス感染症の拡大により市民の不安は大きかったが、適切な情報提供などにより感染対策を市民に広げることができた。 |
| 互いの役割分担はしつかりできたか                      | 団体  | 3  | お互い連携しながら目的に向かって事業を進めることができた。                                 |
|                                       | 担当課 | 4  | お互いに連携し、事業を進めることができた。   |
| 協働で事業実施をした効果があったか                     | 団体  | 4  | 今回の協働実施をきっかけに、他の事案についても様々な面で行政と連携して事を進めているなどの効果があった。          |
|                                       | 担当課 | 4  | より専門的な知識をいち早く、広げることができ、協働で事業を実施する効果があった。                      |

様式第14号(第10条関係)

## まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書

協働事業の名称：「正しく恐れるコロナ対策」感染対策情報発信！

### 1 収 入

(単位：円)

| 項 目  | 金 額     |         | 説 明 (積算等) |
|------|---------|---------|-----------|
|      | 予算      | 決算      |           |
| 補助金  | 100,000 | 100,000 | まちチャレ補助金  |
| 自主財源 | 18,740  | 19,714  | こびりんす会計   |
|      |         |         |           |
|      |         |         |           |
|      |         |         |           |
| 合 計  | 118,740 | 119,714 |           |

### 2 支 出

(単位：円)

| 項 目   | 金 額     |         | 説 明 (積算等)                   |
|-------|---------|---------|-----------------------------|
|       | 予算      | 決算      |                             |
| 講師報酬  | 30,000  | 50,000  | 講師謝金                        |
| 交通費   | 2,980   | 5,000   | 講師への車代                      |
| 印刷製本費 | 60,300  | 40,860  | 広報発行 24,440円、チラシポスター16,420円 |
| 会場費   | 15,460  | 0       |                             |
| 消耗品費  | 10,000  | 23,854  | 垂れ幕、ファイル、事務用品等              |
|       |         |         |                             |
|       |         |         |                             |
|       |         |         |                             |
| 合 計   | 118,740 | 119,714 |                             |

※ 支出証拠書類等の写しを添付してください。

# えにわ 感染対策チームだより Vol.12

令和3年 8月 20日発行

## 新型コロナウイルスと ワクチン接種後の生活



### ワクチンの効果

一般的に期待される効果は『感染予防』『発症予防』『重症化予防』の3つです。

このうち、『発症予防』と『重症化予防』の効果が最も期待できます。未だ結論には至っていませんが、『感染予防』についても効果が期待できるとの論文も発表されています。

ただし、いずれも効果が保証されている訳ではありません。ワクチン接種をしても免疫がつかない人がいたり、ウイルスの変異によりワクチンの効果が十分発揮されなかったりする可能性もあります。そのため、ワクチン接種に加えてマスク着用などの日常的な感染対策を続ける必要があります。

### 変異株の流行とワクチン接種

流行当初の新型コロナウイルスは、若年層には無症状や風邪症状を呈し、高齢者や基礎疾患のある人に重症化し死に至らしめる感染症でした。しかし、繰り返す世界的な流行により、**若年層**にも感染しやすく重症化しやすい変異株が国内でも拡大しています。



未だ画期的な治療方法がない中で、**新型コロナウイルス感染症に感染することは全ての世代で危険です。**そのため、重症化を予防するためにワクチン接種を行うことが推奨されているのです。



ワクチン接種の証明になる「接種券（シールの台紙）」は、今後様々な場面で必要になると思うから、大切に保管してね！

### ワクチン接種による副反応とその対処法

接種を受けた人の多くが副反応を経験します。症状の種類や程度には個人差がありますが、一般的には2回目の接種後に副反応が強く出る傾向にあります。

まれに起こる副反応として、接種直後からアレルギー症状が出る場合があります。15~30分程度は医療スタッフのいる病院内や接種会場で様子をみましょう。

また、接種当日から3日間程度は、高い頻度で下記のような副反応が現れます。

- ①注射した部分の痛み・腫れ
- ②頭痛
- ③発熱
- ④疲労感（だるさ）
- ⑤関節や筋肉の痛み

- ・ワクチン接種後に抗体が作られる反応で『病気』ではありません。
- ・まずは自宅にて安静に過ごし様子をみます。
- ・発熱や痛みがあって辛い場合は、市販の解熱鎮痛剤を服用しましょう。

これらの副反応は、通常、接種後3日間程度で自然に消失します。**4日目以降も持続する場合は、ワクチン接種とは関係なく病気を発症している可能性があるため受診しましょう。**

### ワクチン接種後そのための準備

全ての人に副反応が現れるわけではありませんが、ワクチン接種直後から3日間は、平常通りの生活が送れないことを想定し準備しておきましょう。

- ワクチン接種翌日は予定を入れず、急な休みにも備えましょう。
- 解熱鎮痛剤を用意したり、買い物などの家事は済ませたりしておきましょう。
- 同居家族が同日にワクチン接種を受けなくてもいいように調整しましょう。



文責：感染管理認定看護師 嶋貴祐子

えにわ 感染対策チーム **こびりんず**

代表 樋口 秋緒（恵み野訪問看護ステーション「はあと」）

問合せ先 連携センターりんく（恵庭市在宅医療・介護連携支援センター）

☎ 0123-36-0101

# えにわ 感染対策チームだより Vol.13

## 今　の　う　ち　に　感　染　対　策 ～自分の免疫機能を上げよう編～



### そもそも「免疫(めんえき)」って何?ワクチンとの関係は?

免疫(めんえき)とは、細菌(さいきん)やウイルスから、からだを守ってくれている防御(ぼうぎょ)システムのことです。自分の成分ではないものを攻撃する、というのが免疫の役割です。私たちは、生まれたときから持っている「自然免疫」と、自然免疫ではまかないきれない時に「獲得免疫」を作り出します。この「自然免疫」と「獲得免疫」が連携することで守られているのです。

新型コロナワクチンの接種は「獲得免疫」です。あらかじめ、ワクチン接種することで、ほとんどの人に、強いコロナウイルスに対する免疫が得られます。この免疫は、新型コロナに感染して得られる「自然免疫」よりも強い免疫と言われています。

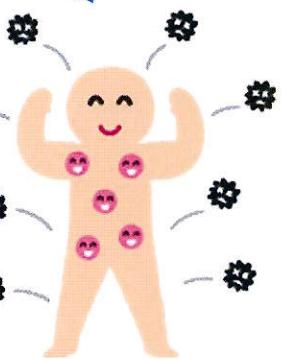
こうして、コロナウイルスが体内に入ろうとした時に、身体から排除させ、感染を防ごうしてくれるのであります。

### 免疫「力」ってなに?

免疫に「力」があるわけではありません。人のからだは、細胞ごとに違う機能を使って病原体を攻撃できるようになっているので、免疫というものに力があるわけではなく、正しくは「免疫機能を強化する」ということになります。

その、「免疫機能」は体の中のリンパ球(T細胞、B細胞がある)など、たくさんの細胞が関わっています。中でも、獲得免疫のうち主要な免疫細胞であるT細胞は、胸腺という組織から供給されます。胸腺は20歳をすぎると急激に萎縮するため、新しいT細胞の供給が減っていきます。そうなると、すでに持っている免疫記憶を頼って獲得免疫の機能を動かしているような状態になります。このT細胞の機能低下が、免疫力の低下に大きく関わっているのです。

「疫(えき)(病気)  
から「免(めん)」(ま  
ぬがれる)ことが免疫

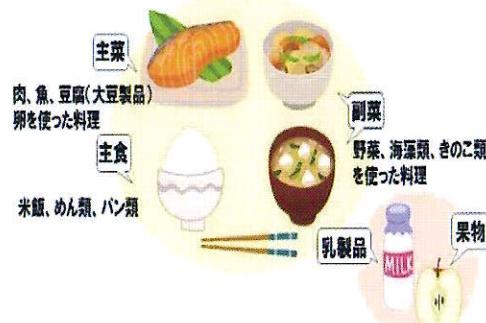


### 普段の暮らしの中で免疫機能を強化するには?

免疫機能をアップして、さまざまな病気にかかるないようにするために、免疫機能を正しく機能させ、病原体に対する抵抗力を維持することが必要となります。そのためには、日常生活の中に次のような事柄を取り入れていきましょう。

#### 1) まずは「食」バランスのよい食事が基本

主食・主菜・副菜には多種多様な食品を取り入れて、多くの栄養素を摂取しましょう。塩分過剰を防ぐため汁物は1日1杯までにしましょう。



#### 2) 適度に体を動かそう

ウォーキングや軽いジョギングなどの適度な運動は体の中のさまざまな機能を高めます。激しい運動やトレーニングは、一時的に免疫機能に関わる機能が低下するといわれていますので、無理のない程度の運動を続けていくように心がけましょう。



#### 3) 「笑い」はストレスをへらします

ストレスと密接な関わりのあるのが自律神経で、交感神経と副交感神経という2つの神経から成り立っています。免疫機能を強化するには副交感神経を優位に働かせるために、身体と心をリラックスした状態に保つことが効果的です。「楽しいことをする」「笑う」など、心が解放されるようなことが大切です。

#### 4) 体を休ませる十分な睡眠をとろう

十分な休養で体と心を休ませることは、副交感神経の働きを優位にすることにも役立つので、疲れたなと思ったら十分に休養(睡眠)を取るのが、免疫機能を維持させていくことになります。

監修:社会医療法人 北晨会理事長 近藤 英輔  
文責:診療看護師 樋口 秋緒



**えにわ感染対策チーム こびりんず**  
代表 樋口秋緒(恵み野訪問看護ステーション「はあと」)  
問合せ先 連携センターりんく(恵庭市在宅医療・介護連携支援センター)  
☎ 0123-36-0101

メディアでおなじみ!! 塚本容子教授が語る

# Withコロナ時代の 新しい生活の構築

えにわ感染対策チーム

こびりんず企画 withまちチャレ  
学生・市民向け特別講演会

Zoom  
同時開催

参加無料

## 9月18日(土)

### 13:30~14:45

13:00開場・受付

北海道文教大学 2号館221教室

恵庭市黄金中央5丁目196-1

わかるようではわからない?ワクチンや変異株のこと

お問い合わせはこちら

恵庭市保健福祉部 介護福祉課

TEL: 0123-33-3131(内線1222)



お申込みは裏面をご覧ください

北海道医療大学 教授  
環境感染学会所属

講師 塚本 容子教授



えにわ感染対策チーム『こびりんず』とは、2020年7月に恵庭市で  
従事する医療・介護の専門職で立ち上げた有志の会です!



# With コロナ時代の新しい生活の構築 参加申し込み

**9月10日(金)締め切り**

## FAXお申込み

FAX : 0123-39-2715

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 参加方法    | 会場 / ZOOM (○をつけてください) |
| 参加者氏名   | フリガナ<br>[留白]          |
| 電話番号    | [留白]                  |
| メールアドレス | ZOOM 参加の場合は必ずご記入ください  |

## メールお申込み

E-mail : kaihofukushi@city.eniwa.hokkaido.jp



- ①件名に『9月18日こびりんず講演会』と入力ください。
  - ②会場参加 or ZOOM 参加
  - ③参加者氏名(フリガナ)
  - ④電話番号
  - ⑤ZOOM 参加の場合はメールアドレス必須！！

- 入場時マスクの着用とアルコール消毒をお願いしています。
  - 体調がいつもと違う方にはご遠慮ください。
  - 感染状況によっては、ZOOMのみでの開催となりますのでご了承ください。

【お問い合わせ】  
恵庭市保健福祉部 介護福祉課  
TEL: 0123-33-3131(内線 1222)

# Withコロナ時代の 新しい生活の構築

北海道医療大学 看護福祉学部

塚本 容子

*yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp*

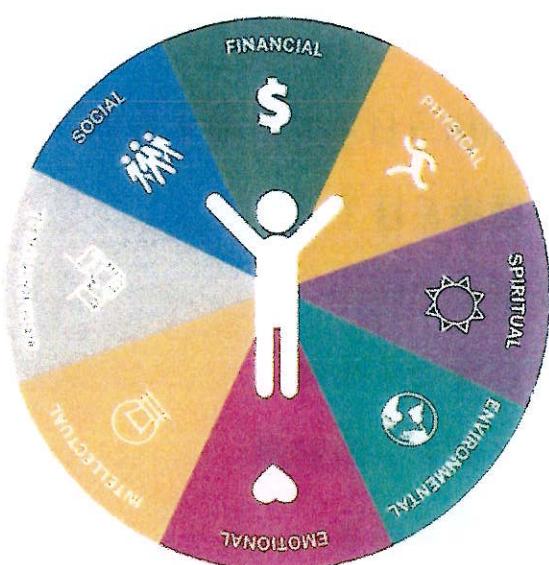
## 本日の内容

- Withコロナで目指すもの
- 感染とは？
- 感染予防
- 変異ウイルス
- ワクチンの効果
- 免疫高める

# With コロナと新しい生活様式 の目標

Post Coronaに向けて  
Well-beingを取り戻す

- ・身体
- ・経済
- ・社会
- ・環境
- ・感情
- ・知識
- ・仕事
- ・スピリチュアル

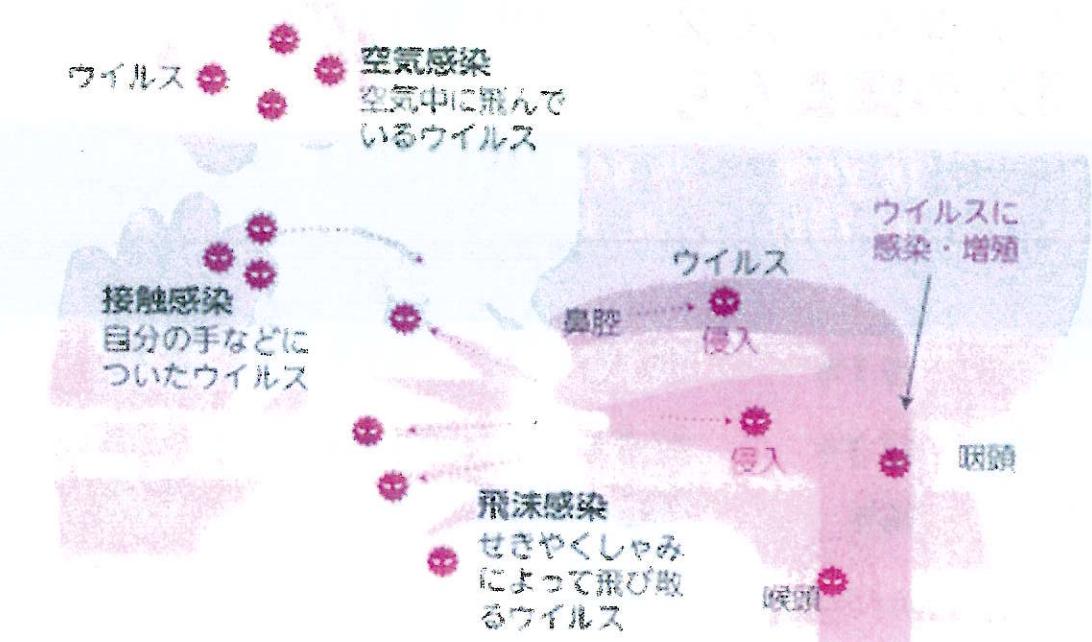


## メンタルヘルスへの影響は？ CDCの調査から

|      | 18-24歳<br>(n=731) | 25-44歳<br>(n=1911) | 45-64歳<br>(n=895) | 65歳<<br>(n=933) |
|------|-------------------|--------------------|-------------------|-----------------|
| 不安症  | 49.1%             | 35.3%              | 16.1%             | 6.2%            |
| うつ症状 | 52.3%             | 32.5%              | 14.4%             | 5.8%            |
| TRSD | 46%               | 36.0%              | 17.2%             | 9.2%            |

TRSD: Trauma Related Sleeping Disorder 睡眠障害

- ・なぜ人はウイルスに感染するのかを理解して感染対策を考える



ウィルスの感染部位と侵入経路 (図: 小林哲也)

東洋経済 2020年3月5日

## 感染予防

- ・ ウィルスを体内に入れないようにする（マスク、手指衛生など）
- ・ ウィルスが体内に入ったとしても、免疫・ワクチン・治療などで増殖させないようにする

## いつから人に感染させるか？

- ・発症の2日前（2.3日）から、ピークは0.7日前  
→ デルタは少し異なる。発症3日前、もしくは5日前の事例も散見
- ・ワクチンを2回接種していても感染は起こる
- ・全く症状のない感染者（無症候）は、約50%（35%～80%）存在する。  
しかも他者への感染は起こる  
→ デルタでは、無症候の人は少ないのでは？いないわけではないが
- つまり、症状の有無で感染の判断は難しい

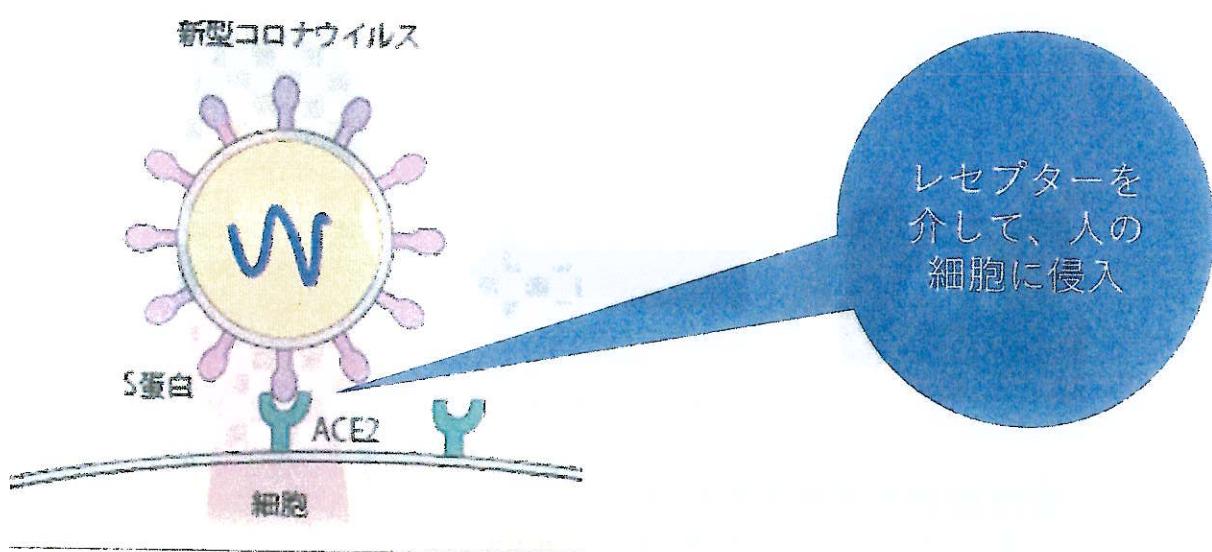
JAMA Intern Med. 2020 May 1;e202020. doi: 10.1001

## 感染した時、どれくらいで発症するのか？



- ・感染経路とは、微生物がどのような経路を通って、感染者から他の人に感染するのかの経路
- ・コロナウイルスは、飛沫感染が主 → マスクの着用
- ・次に多いのが、接触感染 → 手指衛生（手洗い、手の消毒）
- ・エアロゾル感染も → 換気
- ・注意は、目の粘膜を介して感染 → 目の保護
- ・糞便からも排泄される → トイレ消毒ではなく、換気

## 感染経路について



## ARTICLE

## OPEN

# High expression of ACE2 receptor of 2019-nCoV on the epithelial cells of oral mucosa

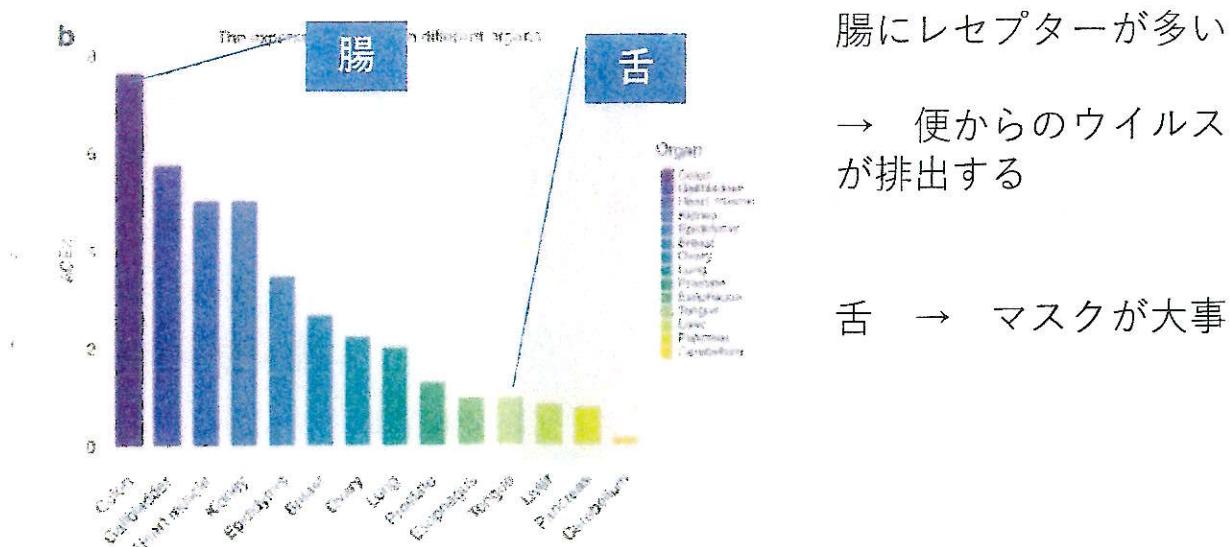
Hao Xu<sup>1</sup>, Liang Zhong<sup>1</sup>, Jiaxin Deng<sup>1</sup>, Jiakuan Peng<sup>1</sup>, Hongxia Dan<sup>1</sup>, Xin Zeng<sup>1</sup>, Taiwen Li<sup>1</sup> and Qianming Chen<sup>1</sup>

It has been reported that ACE2 is the main host cell receptor of 2019-nCoV and plays a crucial role in the entry of virus into the cell to cause the final infection. To investigate the potential route of 2019-nCoV infection on the mucosa of oral cavity, bulk RNA seq profiles from two public databases including The Cancer Genome Atlas (TCGA) and Functional Annotation of The Mammalian Genome Cap Analysis of Gene Expression (FANTOM5 CAGE) dataset were collected. RNA-seq profiling data of 13 organ types with para-carcinoma normal tissues from TCGA and 14 organ types with normal tissues from FANTOM5 CAGE were analyzed in order to explore and validate the expression of ACE2 on the mucosa of oral cavity. Further, single-cell transcriptomes from an independent data generated in-house were used to identify and confirm the ACE2-expressing cell composition and proportion in oral cavity. The results demonstrated that the ACE2 expressed on the mucosa of oral cavity. Interestingly, this receptor was highly enriched in epithelial cells of tongue. Preliminarily, those findings have explained the basic mechanism that the oral cavity is a potentially high risk for 2019-nCoV infectious susceptibility and provided a piece of evidence for the future prevention strategy in dental clinical practice as well as daily life.

*International Journal of Oral Science* (2020) 12:8

; <https://doi.org/10.1038/s41368-020-0074-x>

## ACE 2 Receptor：どこに多いのか？

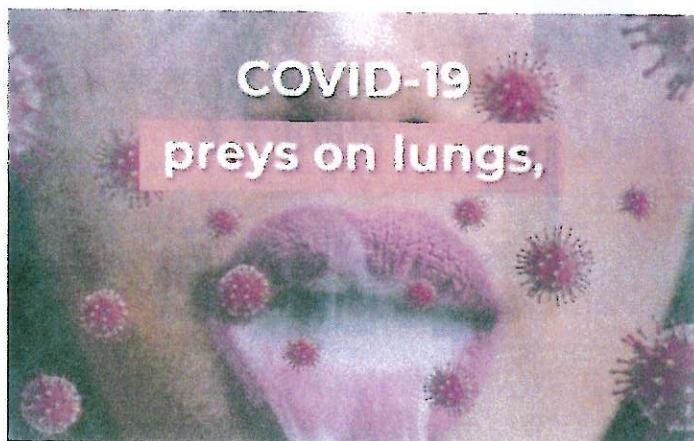


## ACE2 レセプターが多くなる要因

- 年齢 ↑
- 喫煙歴
- 高血圧

レセプターを増やさないことも感染予防

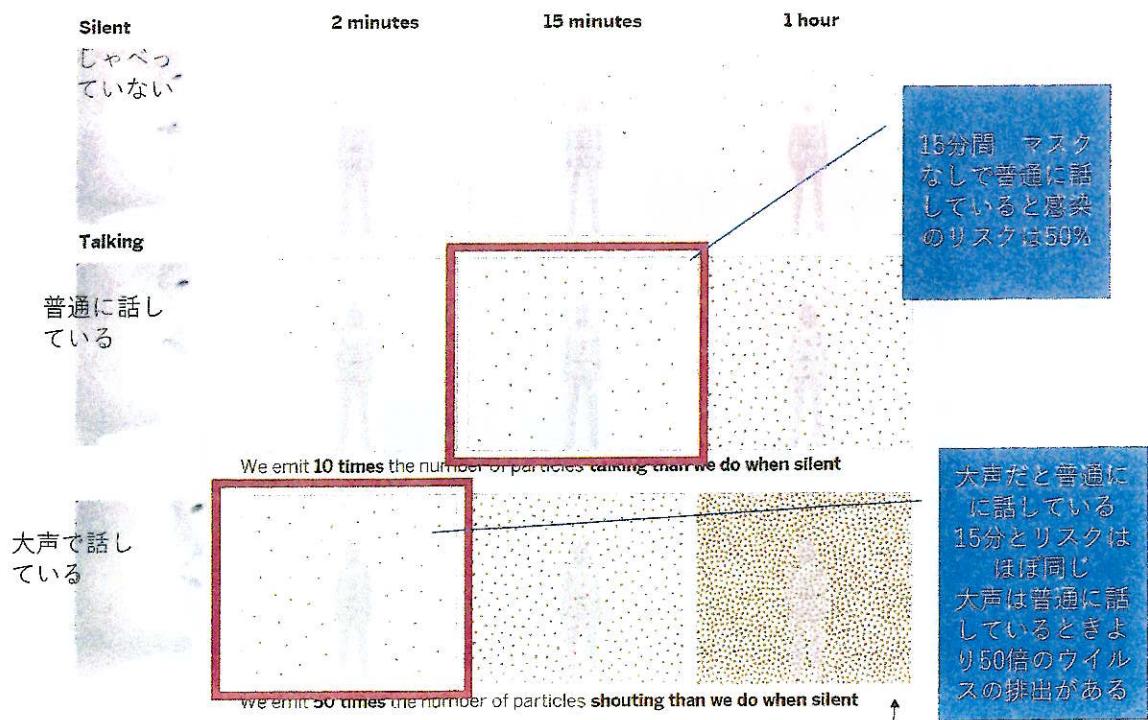
## 喫煙（歴）とコロナウイルス



- 呼吸器感染を起こすウイルス（コロナウイルスを含む）感染が喫煙者では、倍になる
- 喫煙歴がある人は、ない人と比べて、2.4倍の確率でICUに入院
- 電子タバコも同様
- 喫煙所でのクラスター

# なぜ飲食が問題か？

飲食 = マスクを外す



## マスクの種類とその効果



## アクリルボードと換気

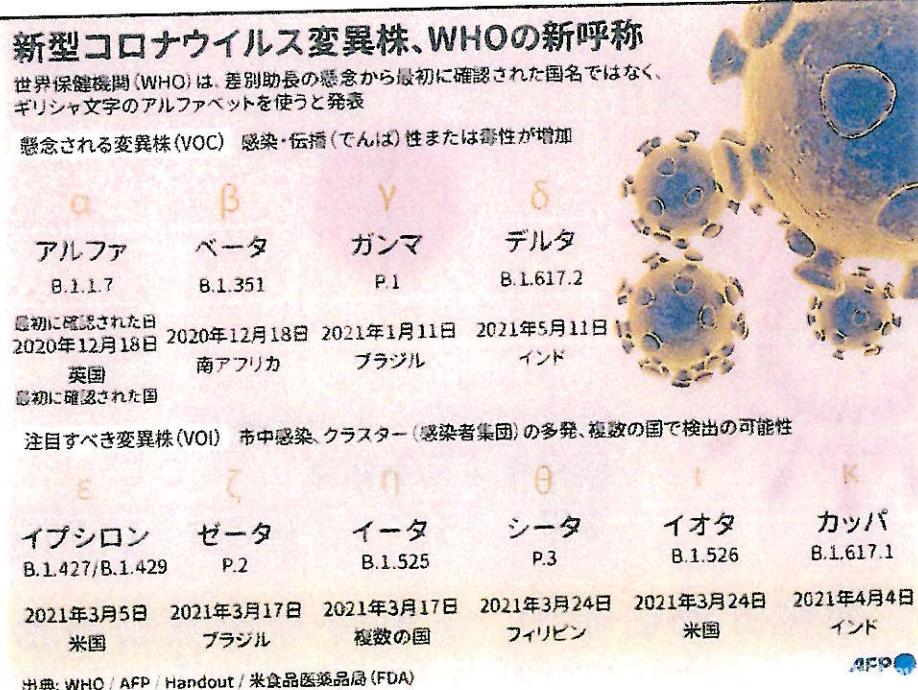


# 変異ウイルス

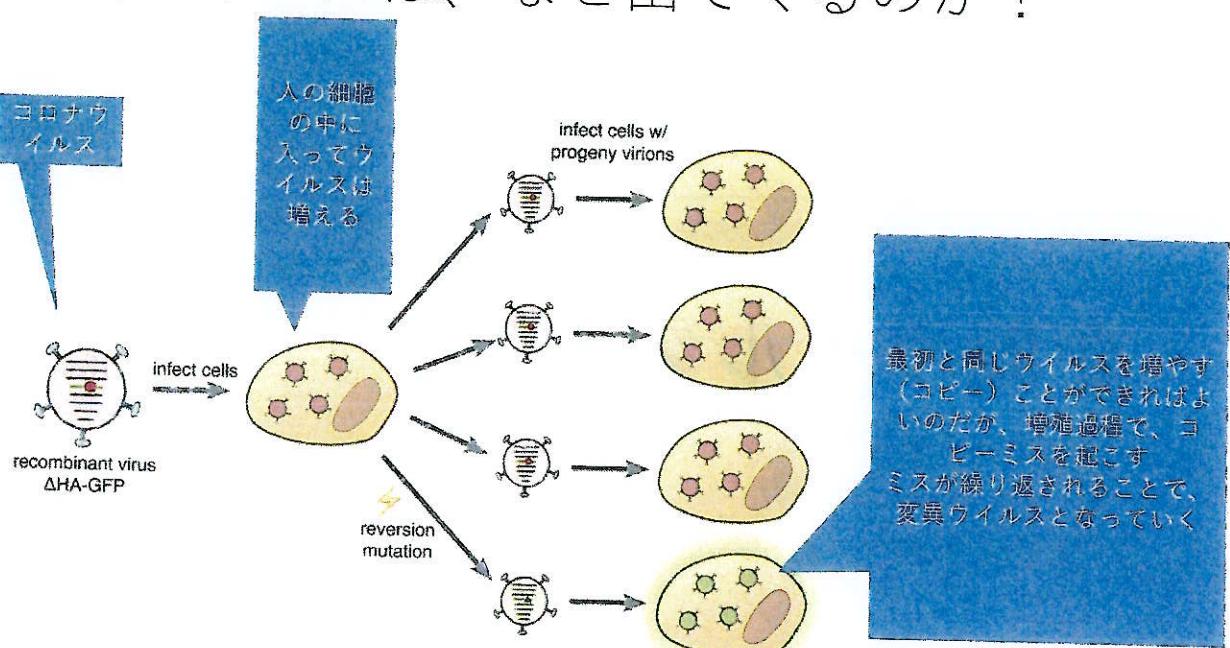
VOI: Variant of Interest

VOC: Variant of Concern

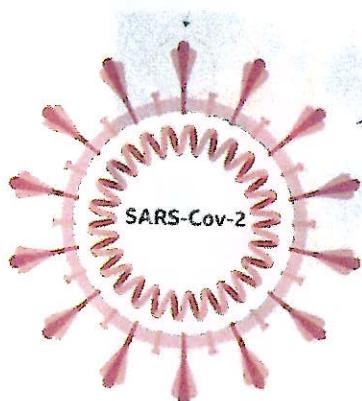
Variant of Monitoring



## 変異ウイルスは、なぜ出てくるのか？



## 変異ウイルス



- ・感染力が強くなる可能性
- ・重症化する可能性
- ・治療・ワクチンが効きにくい可能性

ワクチン接種が進む中で、これから感染対策は？



## 変異ウイルスを想定した対策

- ・異なった対策が必要なわけではない
- ・より徹底した対策が求められる
  - 飛沫感染予防
  - 接触感染予防
  - エアロゾル感染予防
- ・ワクチンが普及しても、変異ウイルスが出現するとその効果は不明
- ・状況は、刻一刻と変わるので、常に新しい情報入手して対策を検討

## 変異ウイルス：ミュー Mu

- 世界40カ国で検出
- 全世界での約1%
- アメリカでも州によって差が大きい フロリダ多い ブレークスルー感染が顕著に起こっていて、高齢者を中心に重症化
- コロンビアで初めて検出 コロンビア40% エクアドル13%
- ベルギー2%
- ベルギーの高齢者施設で21人感染 皆ワクチン接種  
→ 7人死亡 全て80代90代 基礎疾患あり

## ワクチンの効果は？

### 効果とは？

1. 感染予防：ウイルスが体内で増殖しない
2. 発症予防：ウイルスが体内で増殖するがさほどでなく、症状が出ない
3. 重症化予防：重症にならない。

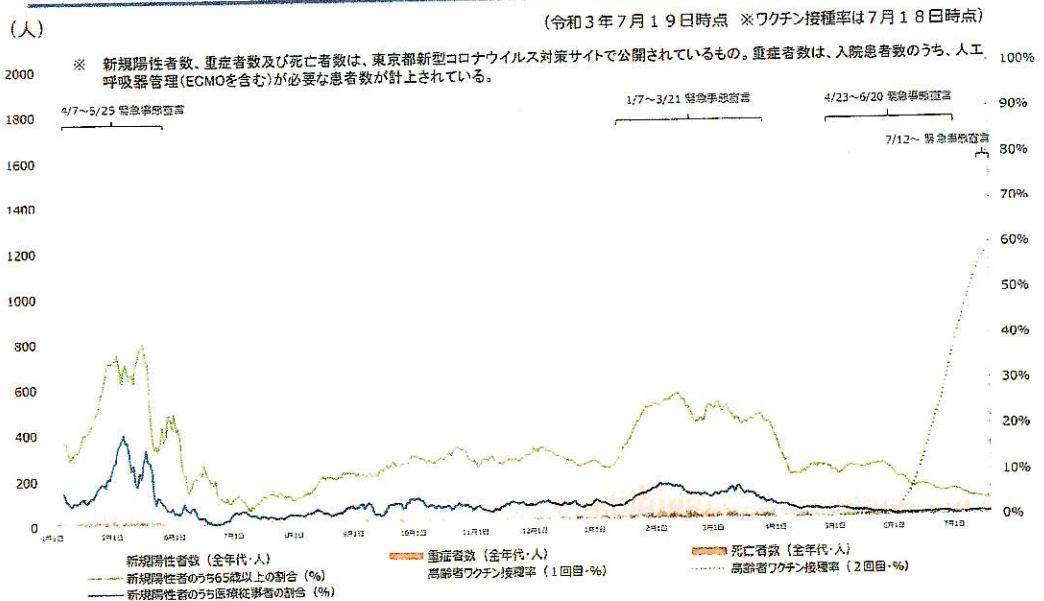
# 変異ウイルスに対するワクチン効果

アルファ

デルタ

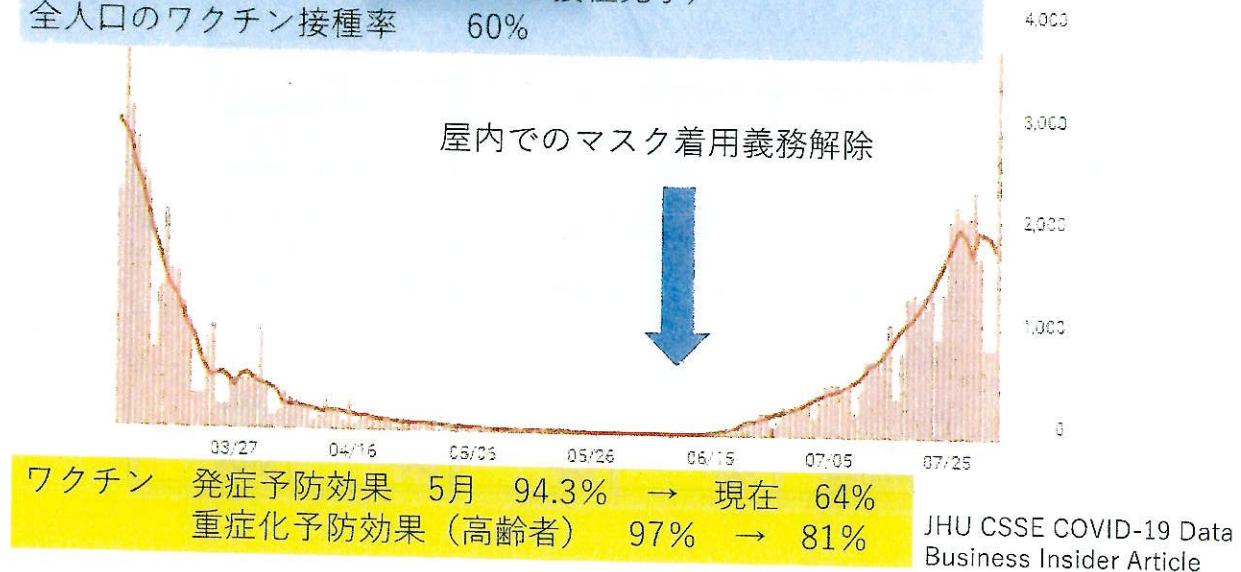
| ワクチン開発社名 (ワクチン名)          | B.1.1.7変異株 |        | B.1.351変異株<br>P.1変異株<br>B.1.617変異株 |        |
|---------------------------|------------|--------|------------------------------------|--------|
|                           | 発症予防効果     | 感染予防効果 | 発症予防効果                             | 感染予防効果 |
| ファイザー (BNT162b2)          | 91%        | (86%)  | (86%)                              | (82%)  |
| モデルナ (mRNA-1273)          | 94%        | (89%)  | (89%)                              | (85%)  |
| アストラゼネカ (AZD1222)         | 74%        | 52%    | 35%                                | (31%)  |
| ジョンソン&ジョンソン (Ad26.COV2.S) | 72%        | 72%    | 64%                                | (57%)  |

## 東京都の新規陽性者数等及び高齢者のワクチン接種率



## Real Worldは少し違う：イスラエルの例

16歳以上のワクチン接種率 80%  
 (高齢者は、前後があるが3月には接種完了)  
 全人口のワクチン接種率 60%



## 概要：ブレークスルー感染

- 2021年7月 Barnstable County, Massachusettsにいくつか大きなイベントが開催
- 州外から多くの人が来るようなイベントであった
- 地元の参加者 69%
- 感染者の90%がデルタに感染
- ワクチン接種別に感染者を分析 (感染者の状況は次のグラフ)

Outbreak of SARS-CoV-2 Infections, Including COVID-19 Vaccine Breakthrough Infections, Associated with Large Public Gatherings Barnstable County, Massachusetts, July 2021

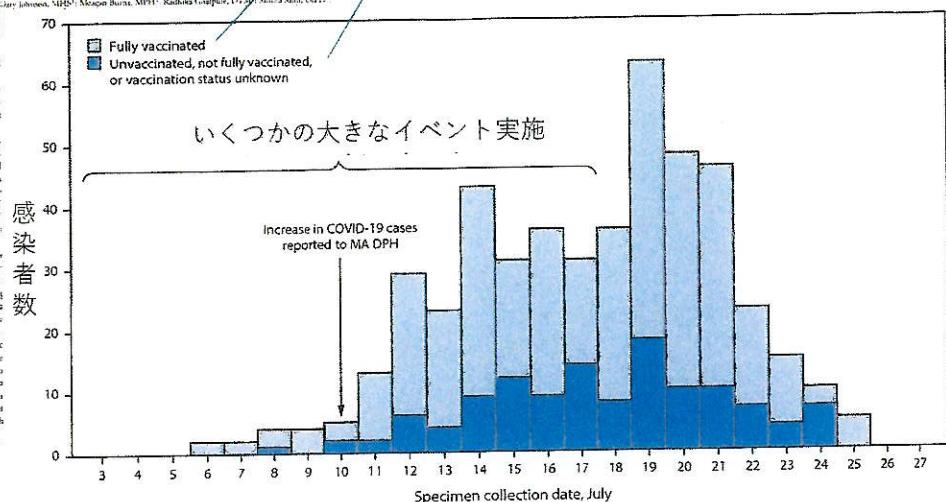
Catherine M. Johnson, MPH<sup>1</sup>; Jennifer Vassallo, MPH<sup>1</sup>; Mary Johnson, MPH<sup>2</sup>; Meagan Burns, MPH<sup>3</sup>; Radhika Gopinath, MPH<sup>4</sup>; Sandra Soto, MPH<sup>5</sup>; Robert C. Rose, MPH<sup>6</sup>; Steven Hall, PhD<sup>7</sup>; Christopher J. D'Amato, MPH<sup>8</sup>; Tracy Renn, MPH<sup>9</sup>; Lawrence C. Mekhora, MPH<sup>10</sup>; Stacy L. Colford, MPH<sup>11</sup>; Elizabeth A. Johnson, MPH<sup>12</sup>; Taylor Remo, MPH<sup>13</sup>

During July 2021, 469 cases of COVID-19 with multiple summer events and large public events in Barnstable County, Massachusetts, among Massachusetts residents, vaccination coverage among eligible Massachusetts residents was 69%. At three-quarters (34%) of all COVID-19 cases, the index patient was fully vaccinated, while 274 (77%) were unvaccinated patients with breakthrough symptoms. Among five COVID-19 cases reported, four were fully vaccinated, as reported. Real-time reverse transcriptase polymerase chain reaction (RT-PCR) testing was conducted among 127 individuals, including persons with breakthrough symptoms. Of 54 persons who were unvaccinated, 30 were vaccination status unknown (median = 22.77) and 21 were fully vaccinated (median = 22.77 and 21.54, respectively). The SARS-CoV-2 is highly transmissible. The most important strategy to prevent severe illness. On July 27, CDC recommended that all persons who are fully vaccinated should wear masks in public settings in areas where COVID-19 is substantial or high. Findings from this investigation even infections without substantial or high risk.

<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/70/iss29/mm213002a.htm#h1>

ワクチン2回接種者

ワクチン未接種、一回のみ、  
またはわからない人



## 感染者の状況

- 7月6日から7月26日まで、計469名の感染者（すべて地元の人）
- 469名の内、
  - 5名入院（1名ワクチン未接種 50代、基礎疾患あり  
4名 ワクチン2回接種 20-70代 うち2名基礎疾患あり）
  - ワクチン2回接種での入院率は1.2%（重症または中等症の区別わからず）
  - 死者なし
- 感染者469名中、346名がワクチン2回接種（74%）
  - 346名の感染者の内、症状あった人 274名（79%）
- 2回接種後、最低でも7日以上経過している人がすべてであった

## ブレークスルー感染の定義の確認

- ワクチン2回接種後、2週間以上経過して、感染

米国全体でのデータ

## 1.71憶人対象（2回接種済み） 8月23日現在

### Hospitalized or fatal COVID-19 vaccine breakthrough cases reported to CDC as of August 23, 2021

As of August 23, 2021, more than 171 million people in the United States have received at least one dose of a COVID-19 vaccine.

During the same time, CDC received reports from 49 U.S. states and territories of 10,987 breakthrough infection who were hospitalized or died.



|                                    |       | Deaths<br>[Total=2,063] | 死亡者   | Hospitalized, non-fatal<br>[Total=8,987] | 0.005% |
|------------------------------------|-------|-------------------------|-------|--|--------|
| Females                            | 女性    | 919                     | (45%) | 4,300                                    | (48%)  |
| People aged ≥65 years              | 65歳以上 | 1,801                   | (87%) | 6,268                                    | (70%)  |
| Asymptomatic or not COVID-related* |       | 440                     | (21%) | 2,205                                    | (25%)  |

\*Patient had no symptoms of COVID-19 or their hospitalization or death was not COVID-related

Previous data on all vaccine breakthrough cases reported to CDC from January–April 2021 are available.

## Mayo Clinicでの研究

- 5つの州のクリニックのデータ（ミネソタ、ウィスコンシン、アリゾナ、フロリダ、アイオワ）
- 25589人を対象
- 発症予防効果について調査
  - 7月以前（アルファ85%） モデルナ86% ファイザー 76%
  - 7月 （デルタ70%） モデルナ76% ファイザー 42%

## なぜこの違いか

- ・オンタリオ（カナダ）にある高齢者施設での結果
- ・medRxiv preprint doi:  
<https://doi.org/10.1101/2021.08.06.21261721>
- ・119名対象 平均年齢 88歳
- ・2回目の接種後（2週間から4週間の間）の抗体量
- ・ファイザーとモデルナでは、ファイザーのワクチンを打った方が、平均37.9%の抗体量が低かった

## 違いについて

- ・ファイザーは、 $30\mu\text{g}$  モデルナは $100\mu\text{g}$
- どちらかが劣るというよりは、用量の違い？

# 1.71憶人対象（2回接種済み）8月23日現在

## Hospitalized or fatal COVID-19 vaccine breakthrough cases reported to CDC as of August 23, 2021

0.0012%

As of August 23, 2021, more than 171 million people in the United States had been fully vaccinated.

During the same time, CDC received reports from 49 U.S. states and territories of 11,054 breakthrough infections who were hospitalized or died.

|                                    |       | Deaths<br>[Total=2,063] | 死者<br>[Total=2,063] | Hospitalized, non-fatal<br>[Total=8,987] | 0.005% |
|------------------------------------|-------|-------------------------|---------------------|--|--------|
| Females                            | 女性    | 919                     | (45%)               | 4,300                                    | (48%)  |
| People aged ≥65 years              | 65歳以上 | 1,801                   | (87%)               | 6,268                                    | (70%)  |
| Asymptomatic or not COVID-related* | 無症状   | 440                     | (21%)               | 2,205                                    | (25%)  |

\*Patient had no symptoms of COVID-19 or their hospitalization or death was not COVID-related.

Previous data on all vaccine breakthrough cases reported to CDC from January–April 2021 are available.

1) 認証を受けた飲食店が酒類提供や営業時間の制限、4人までの人数制限を緩和できること。

(2) 上限5千人に限定されたイベント開催でも、ワクチン接種者などは参加者によって上限引き上げが可能になること。 (3) 県をまたいだ移動制限の緩和も行われること。 (4) 大学等の部活動や課外授業などへの参加

## 感染対策

- 免疫機能を高める
- どのように？

## 実際には？ 運動が重要

Original research

### Physical inactivity is associated with a higher risk for severe COVID-19 outcomes: a study in 48 440 adult patients

Robert Sallis ,<sup>1</sup> Deborah Rohm Young,<sup>2</sup> Sara Y Tartof,<sup>2</sup> James F Sallis,<sup>3</sup> Jeevan Sall,<sup>1</sup> Qiaowu Li,<sup>2</sup> Gary N Smith,<sup>4</sup> Deborah A Cohen<sup>2</sup>

Table 2 Hospitalisations, ICU admissions and deaths among patients with COVID-19

|                 | Consistently inactive (n=6984) | Some activity (n=38 338) | Consistently meeting PA guidelines (n=3118) |
|-----------------|--------------------------------|--------------------------|---|
| Hospitalisation | 732 (10.5%)                    | 3405 (8.9%)              | 99 (3.2%)                                   |
| Admitted to ICU | 195 (2.8%)                     | 972 (2.5%)               | 32 (1%)                                     |
| Deceased        | 170 (2.4%)                     | 590 (1.5%)               | 11 (0.4%)                                   |

ICU, intensive care unit; PA, physical activity.

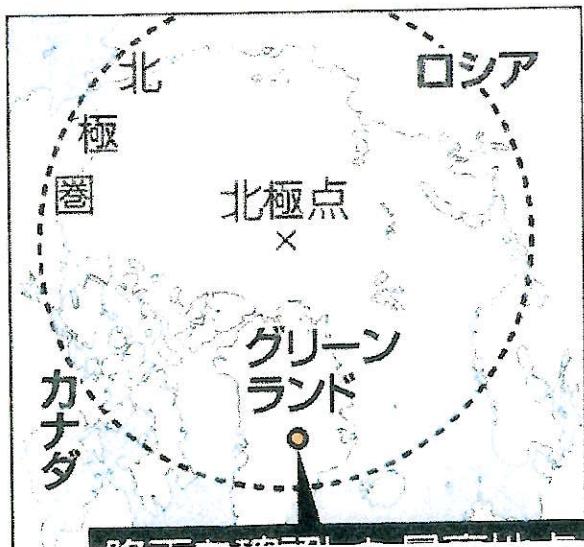
運動なし

一日30分  
週5回

## 前向きな感情（Positive Emotion）と免疫



大部分が北極圏にあるグリーンランドを覆う氷床の最高地点（標高3000メートル超）で、雪ではなく雨を観測史上初めて確認したと、米国立雪氷データセンターが発表した。氷床全体で大雨による氷の大量融解も確認されたといい、地球温暖化の影響が本格化している可能性がある。



降雨は14～16日、標高3216メートルの地点にある気象観測施設で観測された。この施設では1989年の設置以降、真夏でも降雪しか確認されていなかった。

発表によると、北米大陸から暖気が入り込みやすい気圧配置になった影響で、グリーンランドの氷床全体に3日間で70億トンの雨水が降り注ぎ、降雨量が1950年以降で最多になった可能性があるという。15日には、8月中旬に解ける氷の平均量の7倍に達したと推定された。



## えにわ知恵ネット活動報告用 記事

2021年9月18日(土) 市民向け感染対策講演会「Withコロナ時代の新しい生活の構築」についてご報告させていただきます。

この講演会は、2021年度まちづくりチャレンジ協働事業の一環として企画・開催させていただきました。

介護福祉課とのコラボによる、こびりんず発足以来の一大イベントでした。

会場はなんと、北海道文教大学様のご厚意で、無償で提供していただきました。

下見など準備段階から大変お世話になり、本当にありがとうございました。

さて、講演会の講師は、メディアでおなじみ北海道医療大学看護福祉学部 臨床看護学教授 塚本容子先生！テレビで見ない日はないくらいご活躍されている先生ですが、実際お会いすると大変気さくで優しい先生です。

### ～講演より抜粋～

- ・これまで発症の2日前から感染が起きているといわれていましたが、デルタ株は3日前から体内で増殖し、ワクチンを2回接種していても感染は起こるのです。
- ・感染対策のポイントはやはり、手指衛生とマスク、換気です。
- ・前向きな感情と免疫については、免疫が低下していると病気が進行してしまう。前向きな気持ちで過ごすことでも、免疫力アップにつながります。
- ・今年はインフルエンザも重症化が心配される。予防接種は打った方がよいが、コロナワクチン未接種の方はコロナワクチンを優先してください。

などなど…

ワクチンや変異株についてなど、今だからこそ聞きたい話題が盛りだくさんでした。

参加された方からは質問もたくさん寄せられ、あっという間に終了時間となってしまいました。

ワクチンは大事です。

不安はあると思いますが、ひとつひとつ不安解消にむけて、こびりんずも活動をしてきましたし、今後も続けていきます。

会の発足から1年半、こびりんずは市内20か所を塚本先生とまわってきました。

治療薬はまだすぐは期待できないなかで、感染対策はいつも原理原則。

新しい情報を得て、自分自身の感染対策への知識を最新情報に書き換えていくことが大切です。

そして大事なのは思いやりの行動。

運動、禁煙もそうですが、前向きな気持ちでいることが免疫力アップにつながるのだと思います。

最後になりますが、皆様のご協力のもと、この講演会を無事開催できましたこと、心より感謝申し上げます。



アドバイスをいただきながら完成した演題幕



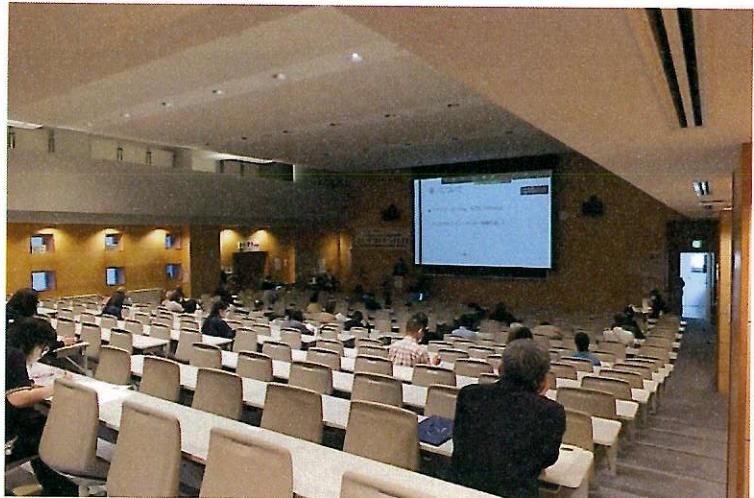
保健福祉部 足立重敬次長より開会の御挨拶



講演中の様子



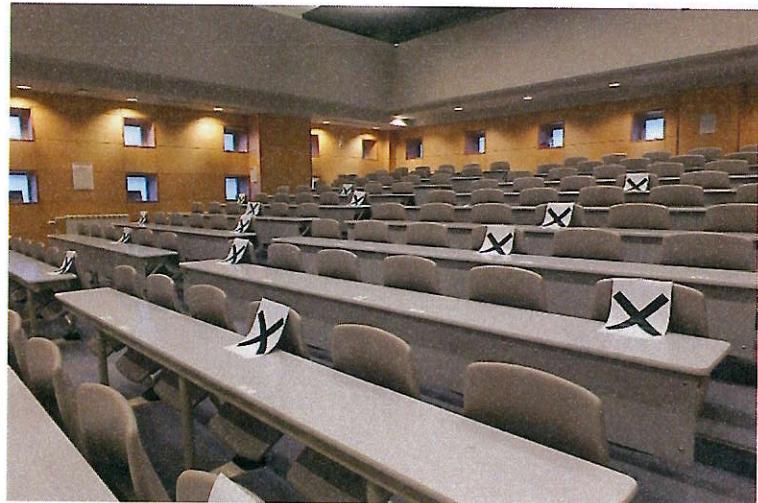
会場の様子



スタッフも緊張しながら  
入念な打ち合わせ



会場は全席指定で  
ゆとりを持った配置に



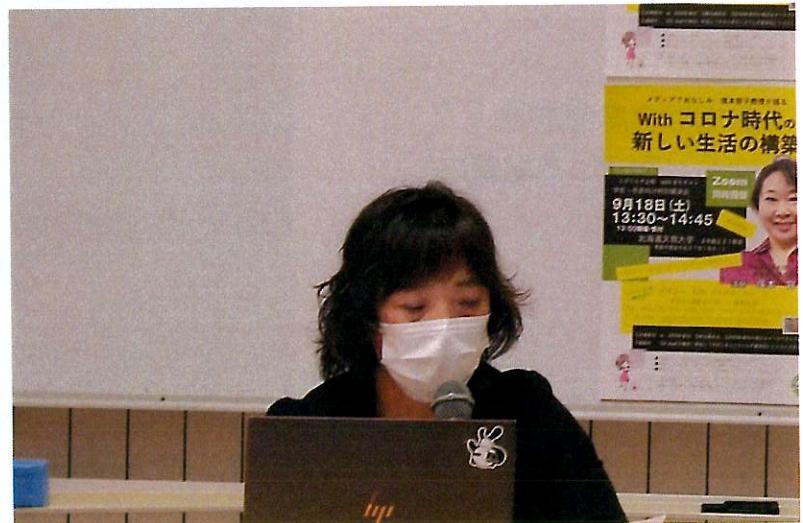
使用後は清掃、消毒を



雨のなか、レインコート  
着用の外誘導スタッフ



司会の樋口代表



会場と Zoom 同時開催  
配信担当は終始緊張でした



講演会後の1枚です。  
スタッフから改めて先生への御礼を



介護福祉課 茅野課長  
いつも明るく楽しく、  
講演会当日もスタッフを笑顔に  
してくださいました。

